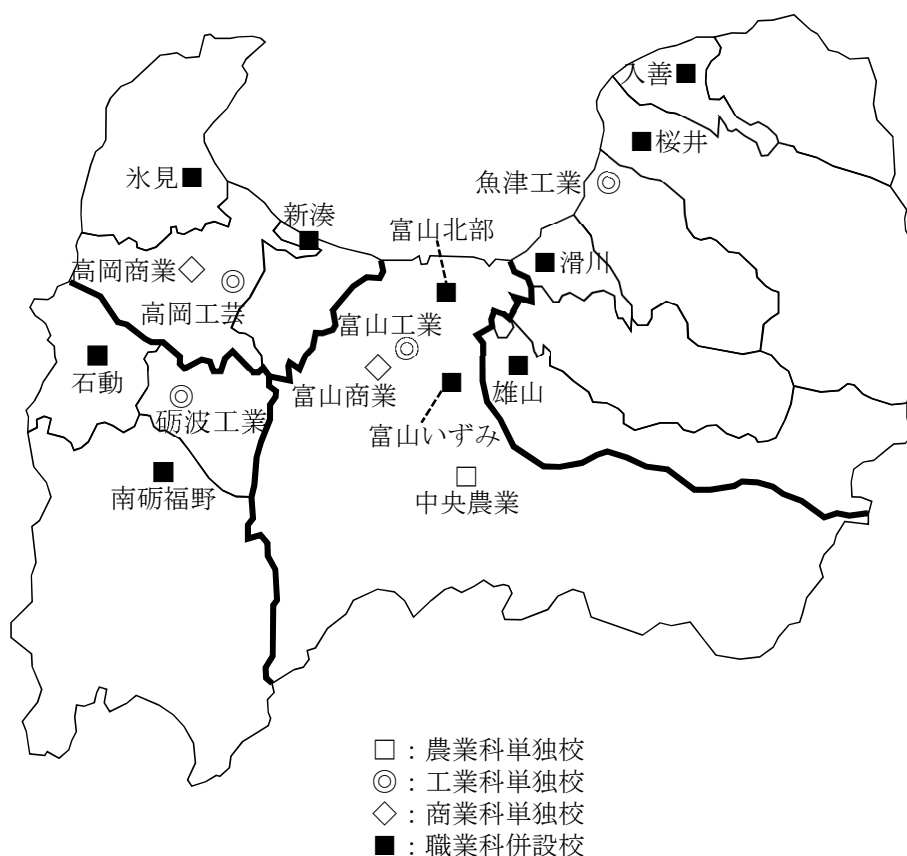


1	職業系専門学科を取り巻く現状と課題	・・・1
2	各学科の現状と課題	
2-1	農業科	・・・2
2-2	水産科	・・・4
2-3	工業科	・・・6
2-4	商業科	・・・8
2-5	家庭科	・・・10
2-6	看護科	・・・12
2-7	福祉科	・・・14



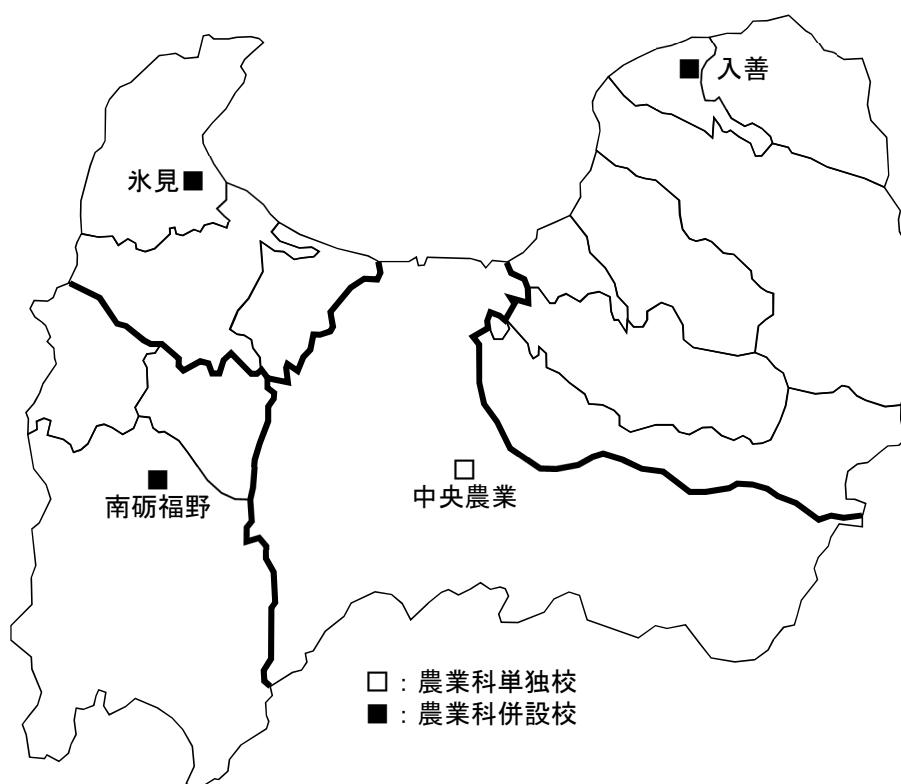
## 1 職業系専門学科を取り巻く現状と課題

- ・ 技術革新・産業構造の変化、グローバル化等、社会の急激な変化を踏まえた職業系専門学科のあり方
- ・ 中学校卒業予定者数の減少に伴う職業系専門学科のあり方



## 2 各学科の現状と課題

### 2-1 農業科



砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
南砺福野■	氷見■	中央農業□	入善■
農業環境科 (30)	農業科学科 (20)	生物生産科 園芸デザイン科 バリエーション技術科 (くくり募集で78名)	農業科 (30)

( ) 内は R4 年度の募集定員

#### 【高等学校学習指導要領の目標】

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 1 現状と課題

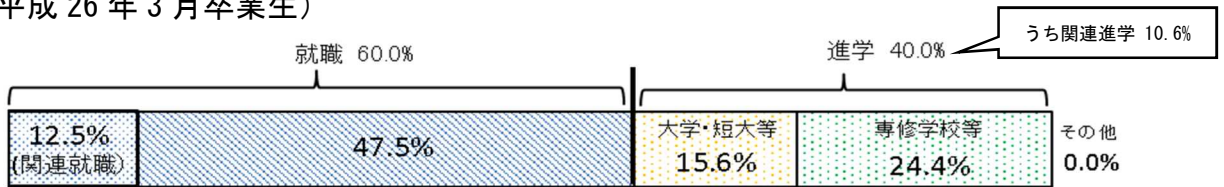
- 農作物の栽培など実践的な学習を通じた人間教育に貢献
- 本県において、農業が果たしている役割が大きい
- 農業科卒業後の関連就職率が低い
- 中学生の農業科への入学希望者数が募集定員を下回っている

## 2 特色ある取組み

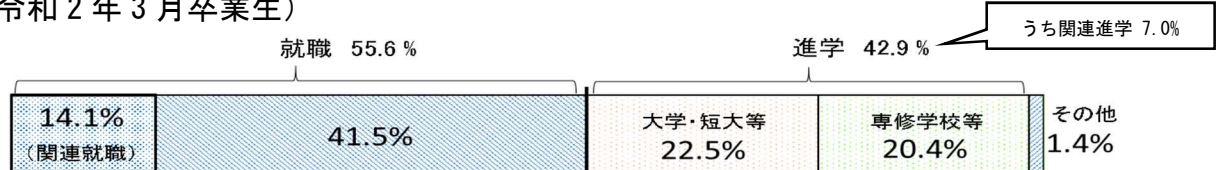
- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・GPSトラクタ、農薬散布用ドローンなどのスマート農業機器を導入した実習
  - ・GAPを取り入れた農業教育
  - ・ドジョウや米ぬかを利用した有機農法の開発
- ② 地域や産業界との連携
  - ・地域の農業法人や農家から栽培技術や経営について学習
  - ・販売実習や小学生との交流
- ③ 魅力発信
  - ・学校水田で栽培したお米の販売
  - ・地域住民に施設の一部を開放し、共に学ぶ「共学農園」の活動

## 3 進路状況

(平成 26 年 3 月卒業生)



(令和 2 年 3 月卒業生)



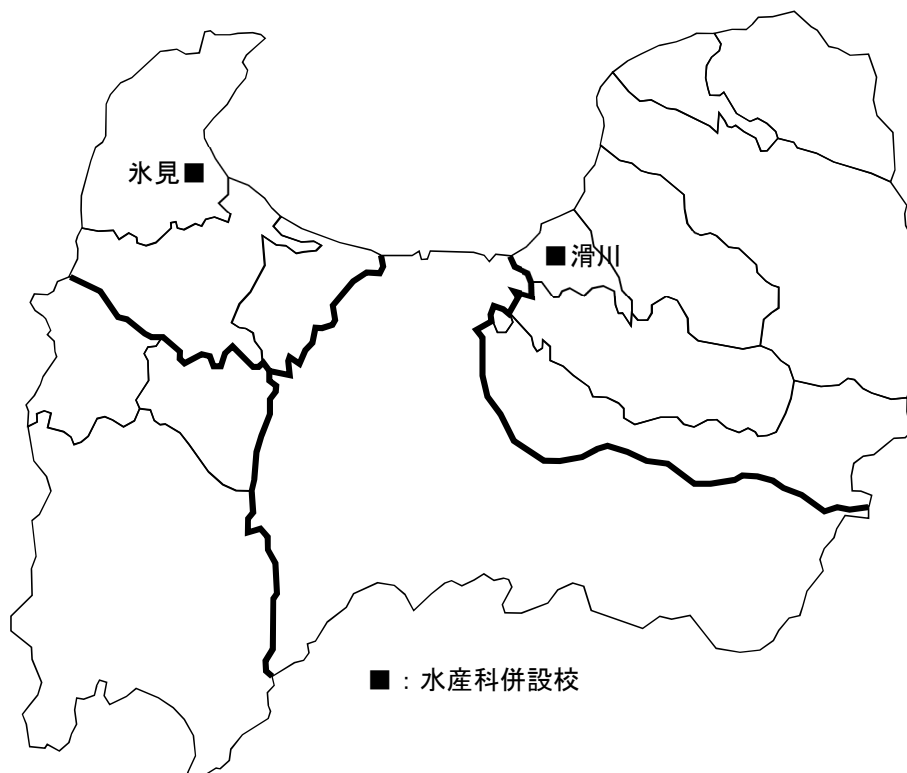
## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率 (過去5年間)

H29	H30	R1	R2	R3	5年平均
0.89	0.80	0.72	0.76	0.76	0.79

### 【参考：各方面からの意見・要望】

- ・スマート農業に係る実証実験や課題検証など、特色ある農業教育を推進すること
- ・全ての県立高校の農業科でGAP (Good Agricultural Practices)に取り組むこと

## 2-2 水産科



砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
—	氷見■	—	滑川■
—	海洋科学科(20)	—	海洋科(40)

( ) 内は R4 年度の募集定員

### 【高等学校学習指導要領の目標】

水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、水産業や海洋関連産業において必要となる基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 水産業や海洋関連産業の国民生活における社会的意義や役割などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 水産業や海洋関連産業全体を広い視野で捉え課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 持続可能な水産業や海洋関連産業の構築を目指して自ら学び、地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 1 現状と課題

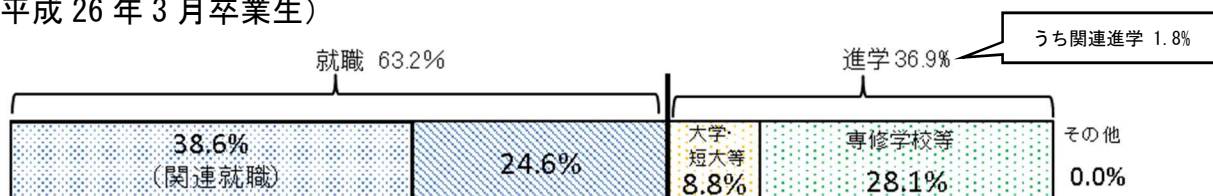
- 専門分野の実習を通じた人間教育に貢献
- 水産科卒業後の関連就職率が低い

## 2 特色ある取組み

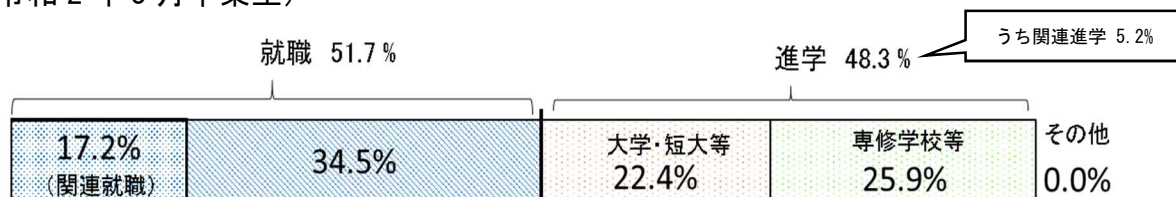
- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・潮流計、海洋環境計測器CTDなどのスマート水産機器を導入
  - ・「ます寿司」の原料サクラマス飼育、放流
  - ・水産食品（真空パック、缶詰）の探究
- ② 地域や産業界との連携
  - ・富山県美術館内レストランと共同で「ひみ寒ぶり」を取り入れたメニューの考案
  - ・ホテルイカ郷土料理教室
- ③ 魅力発信
  - ・富山湾の豊かな漁場と美しい海を守るための海洋環境の保全活動
  - ・滑川ホテルイカ祭り、ふるさと龍宮祭り販売実習

## 3 進路状況

(平成 26 年 3 月卒業生)



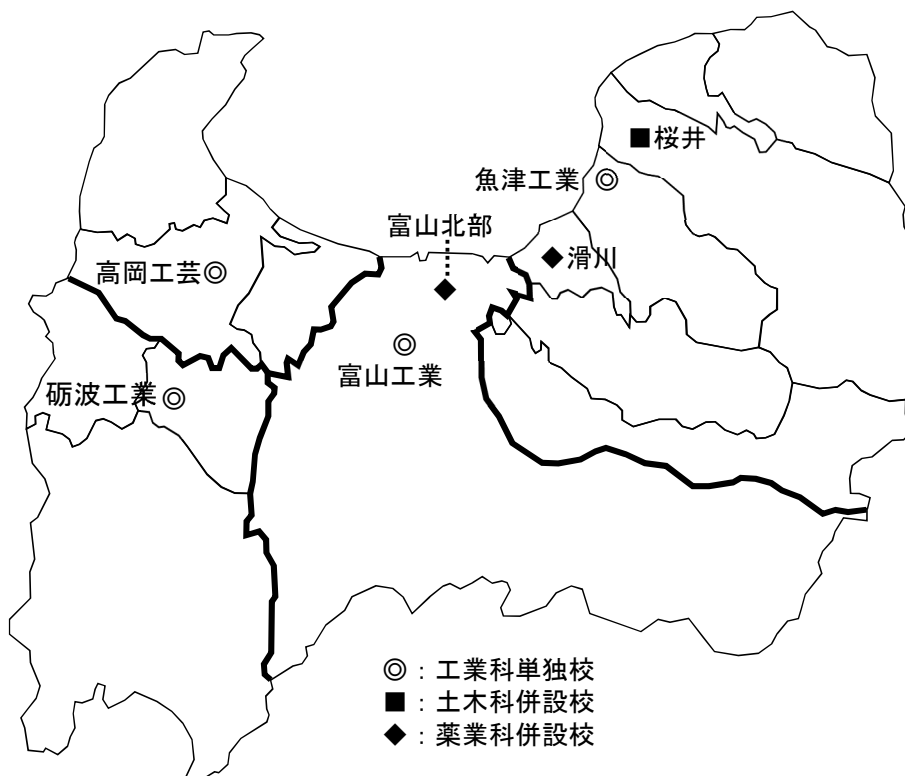
(令和 2 年 3 月卒業生)



## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率 (過去 5 年間)

H29	H30	R1	R2	R3	5 年平均
1.39	1.19	1.46	1.56	0.93	1.29

## 2-3 工業科



学区	砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
高校	砺波工業◎(160)	高岡工芸◎(270)	富山工業◎(320) 富山北部◆(80)	滑川◆(40) 魚津工業◎(120) 桜井■(40)
機械系	◎	◎	◎	◎
電気・電子系	◎	◎	◎	◎
土木・建築系	—	◎	◎	■
化学・薬業系	—	◎	◆	◎◆
工芸・デザイン系	—	◎	—	—

( ) 内は R4 年度の募集定員

### 【高等学校学習指導要領の目標】

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。



## 1 現状と課題

- 製造業を中心とした地域産業の担い手育成が重要
- 工業科卒業生の関連就職率が高い
- ものづくり産業が盛んな日本海側屈指の工業県

## 2 特色ある取組み

- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・ドローンや3Dプリンターなどを活用した実習
  - ・各種ロボット競技大会、ものづくりコンテストへの参加
- ② 地域や産業界との連携
  - ・富山県産の原料を使ったスキンケア化粧品「美絹(うつくしるく)」を開発・販売
  - ・きらめきエンジニア事業などで企業や大学と連携して活動
- ③ 魅力発信
  - ・放送局とタイアップして取り組んでいる「ミラコン」への出場
  - ・課題研究で作成した作品をチューリップフェア等のイベントで活用
  - ・小学生を対象にしたロボット教室や化学実験教室、工作教室の実施

## 3 進路状況

(平成 26 年 3 月卒業生)



(令和 2 年 3 月卒業生)



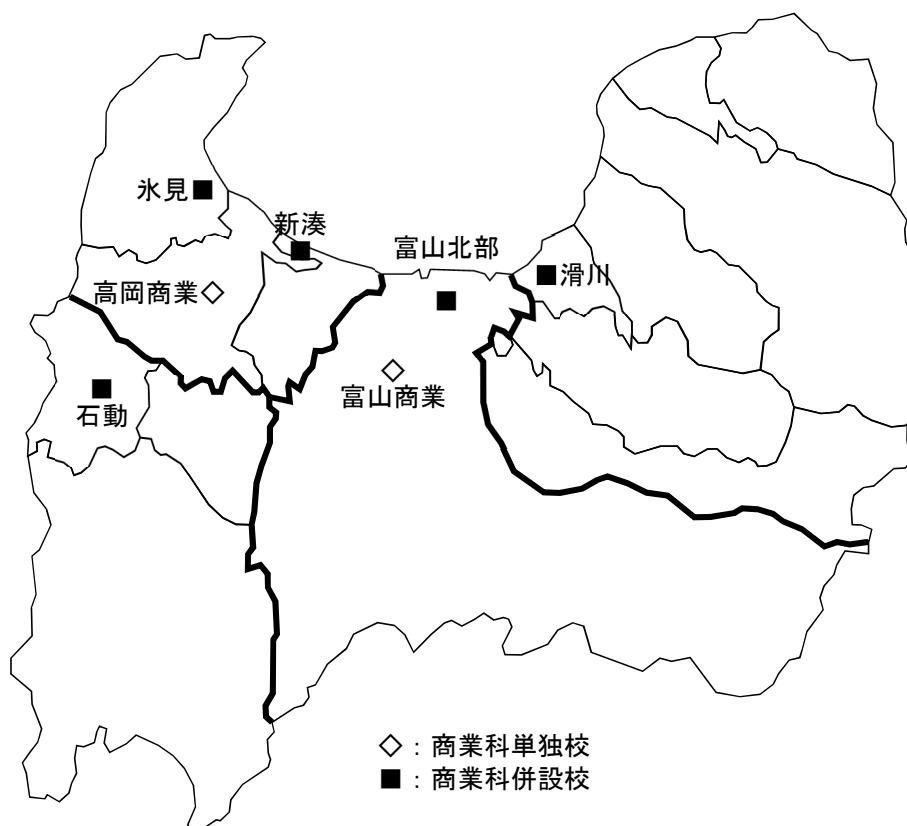
## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率 (過去5年間)

	H29	H30	R1	R2	R3	5年平均
機械系	1.15	1.35	1.20	1.18	0.97	1.17
電気・電子系	1.11	0.92	1.11	1.25	0.94	1.06
土木・建築系	1.63	1.53	1.46	1.28	1.13	1.40
化学・薬業系	1.90	1.79	1.24	1.66	0.85	1.41
工芸・デザイン系	1.08	1.25	1.67	1.72	1.22	1.39
工業科全体	1.26	1.23	1.24	1.30	0.99	1.20

### 【参考：各方面からの意見・要望】

- ・データサイエンス人材の育成の検討が必要であること
- ・県立高校に土木・建築系学科の定員を増やすこと
- ・生徒が学ぶ内容と産業界が必要とする内容の隔たりを埋めること

## 2-4 商業科



砺波学区	高岡学区			富山学区		新川学区
石動■	高岡商業◇	氷見■	新湊■	富山商業◇	富山北部■	滑川■
商業科(40)	流通ビジネス科(80) 国際ビジネス科(40) 会計ビジネス科(40) 情報ビジネス科(40)	ビジネス科(40)	商業科(40)	流通ビジネス科(80) ビジネスマネジメント科(40) 会計ビジネス科(40) 情報ビジネス科(80)	情報デザイン科(40)	商業科(40)

( ) 内はR4年度の募集定員

### 【高等学校学習指導要領の目標】

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 1 現状と課題

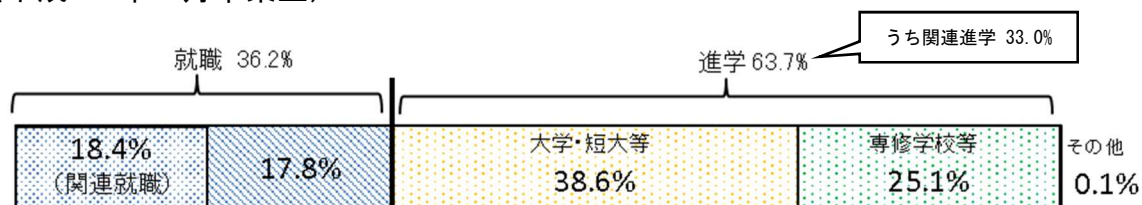
- ビジネスに関する実践的な学習を通じた人間教育に貢献
- 中学生の商業科への入学希望者数が募集定員を下回っている
- △大学・短大等高等教育機関での学習を希望する生徒の割合が高くなってきている

## 2 特色ある取組み

- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・東京都内の地域資源の活用実態を調査、分析し地域資源の活性化方法を提案
  - ・生徒が開発した商品や企業から仕入れた商品の販売活動
- ② 地域や産業界との連携
  - ・経済団体と連携を取り、地域の活性化につながる活動や交流の実践
  - ・富山大学経済学部と連携した「探究講座」を実施
- ③ 魅力発信
  - ・地域イベントのボランティア（運営補助・販売・企画運営）

## 3 進路状況

（平成 26 年 3 月卒業生）



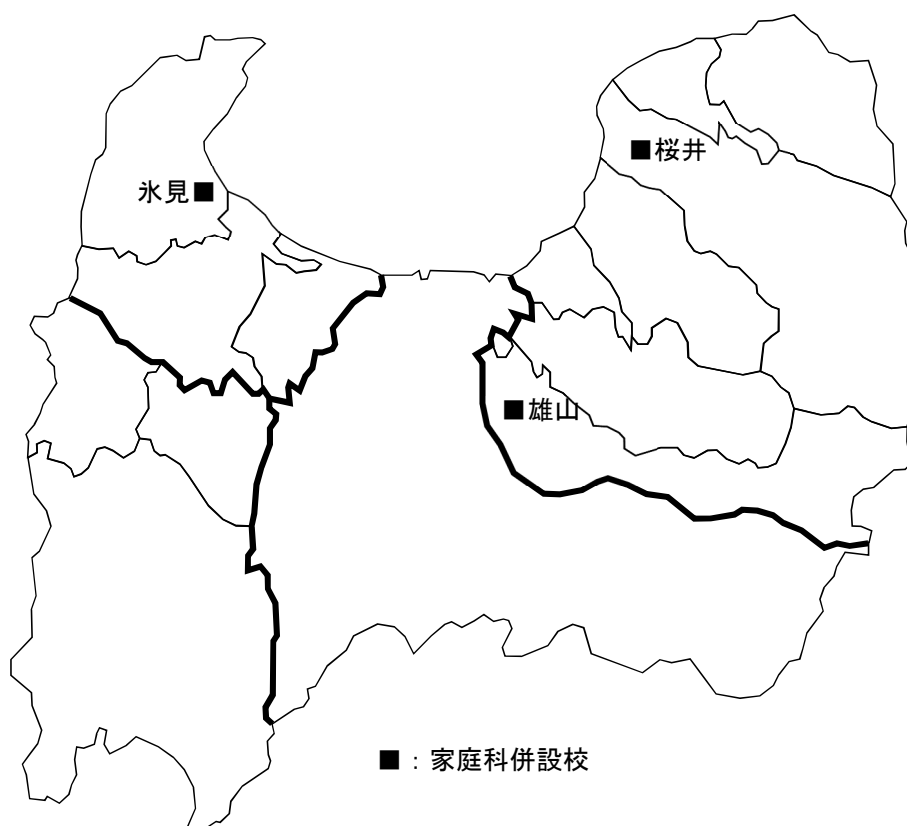
（令和 2 年 3 月卒業生）



## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率（過去 5 年間）

H29	H30	R1	R2	R3	5 年平均
1.14	1.33	1.24	0.95	1.21	1.18

## 2-5 家庭科



砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区	
—	氷見■	—	雄山■	桜井■
—	生活福祉科(40)	—	生活文化科(30)	生活環境科(40)

( ) 内は R4 年度の募集定員

### 【高等学校学習指導要領の目標】

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 1 現状と課題

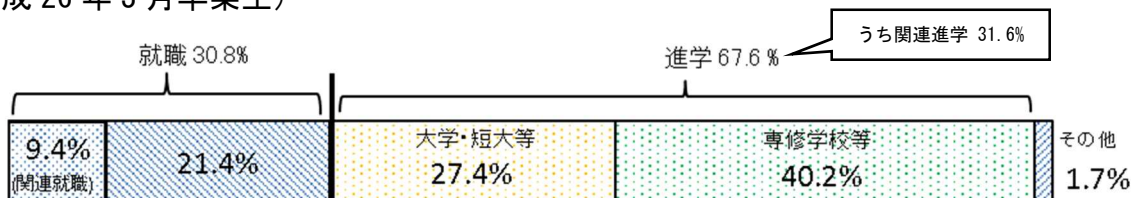
- 服飾・食物など実践的な学習を通じた人間教育に貢献
- 家庭科卒業後の関連就職率が低い
- △生活を取り巻く社会の変化や生徒の進路が多様化している

## 2 特色ある取組み

- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・SDGs をテーマとした研究発表
  - ・「若年技能者人材育成支援事業 ドレス作成講座」の受講
- ② 地域や産業界との連携
  - ・「食育プロジェクト」をテーマとし、地域の子どもを対象とした活動を実施
  - ・地元食材を活用したお菓子をチャレンジショップで販売
- ③ 魅力発信
  - ・病院での1日看護体験の様子を、ケーブルテレビで放送
  - ・保育所や福祉施設への訪問活動

## 3 進路状況

(平成 26 年 3 月卒業生)



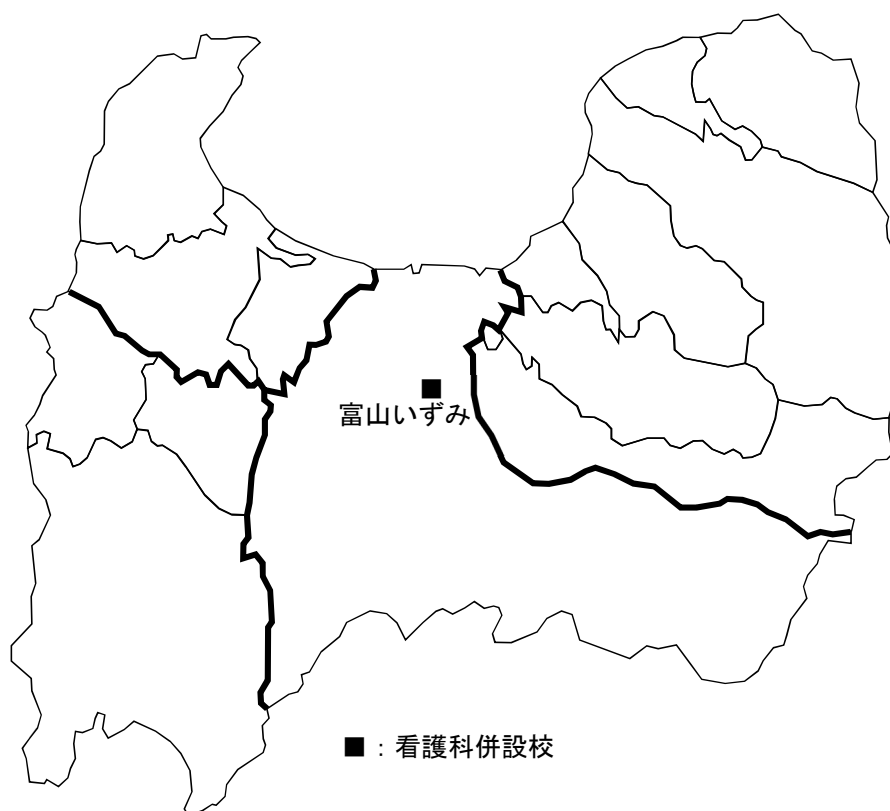
(令和 2 年 3 月卒業生)



## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率 (過去 5 年間)

H29	H30	R1	R2	R3	5 年平均
1.04	1.00	1.28	0.92	1.16	1.08

## 2-6 看護科



砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
—	—	富山いずみ■	—
—	—	看護科(40)	—

( ) 内は R4 年度の募集定員

(参考) 県内の看護師等養成機関

砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
砺波准看護学院	富山福祉短期大学 富山県高岡看護専門学校	富山大学 富山県立大学(富山キャンパス) 富山市立看護専門学校 富山市医師会看護専門学校	富山医療福祉専門学校

R4 年度に生徒募集を行う養成機関

### 【高等学校学習指導要領の目標】

看護の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、看護を通じ、地域や社会の保健・医療・福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 看護について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 看護に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 1 現状と課題

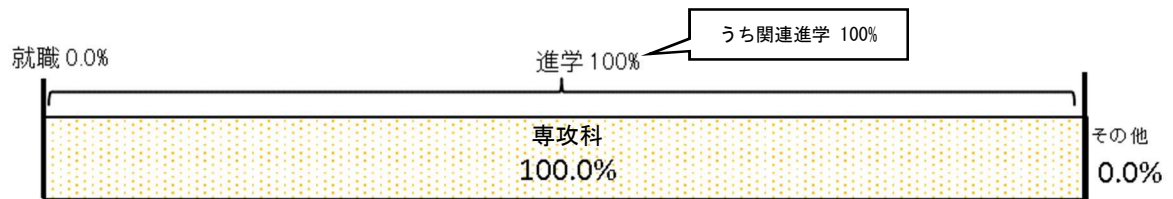
- 中学生の看護科への入学希望者数が募集定員を上回っている
- △看護医療の高度化に伴う看護師の資格基準の改正

## 2 特色ある取組み

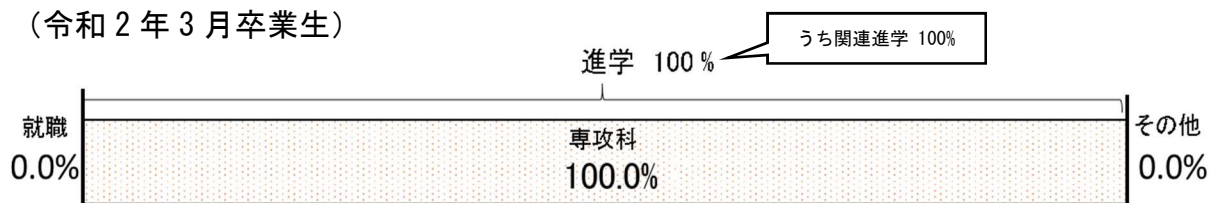
- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・5年間の系統的に段階を踏まえた教育課程
  - ・最新のシミュレーターを導入した実習
- ② 地域や産業界との連携
  - ・地元の特別養護老人ホーム・保育所など 36 施設で臨地実習
- ③ 魅力発信
  - ・2学期の毎週金曜の放課後に地元小学校で学童保育のボランティア

## 3 進路状況

(平成 26 年 3 月卒業生)



(令和 2 年 3 月卒業生)



## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率 (過去 5 年間)

H29	H30	R1	R2	R3	5 年平均
1.13	1.38	2.00	0.84	1.38	1.34

【参考：各方面からの意見・要望】

- ・新川医療圏内の県立高校に看護師養成科を設置すること

## 2-7 福祉科



砺波学区	高岡学区	富山学区	新川学区
南砺福野■	(氷見◆)	(八尾◆)	—
福祉科(30)	(生活福祉科 福祉類型)	(普通科 福祉コース)	—

( ) 内はR4年度の募集定員

### 【高等学校学習指導要領の目標】

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。



## 1 現状と課題

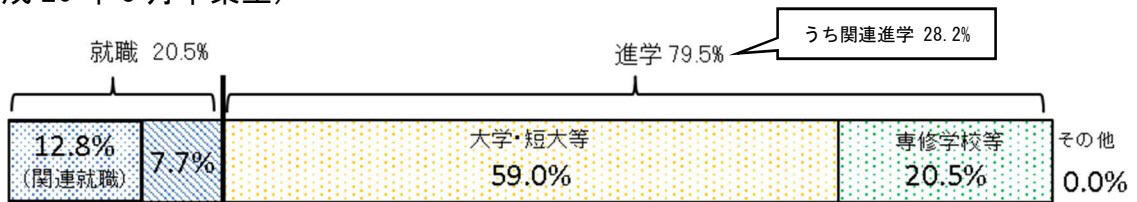
- △県内の介護福祉士養成校(介護福祉士の養成課程を持つ福祉科)が全体で4校
- △介護・福祉ニーズの多様化・高度化に伴う介護福祉士の資格基準の改正

## 2 特色ある取組み

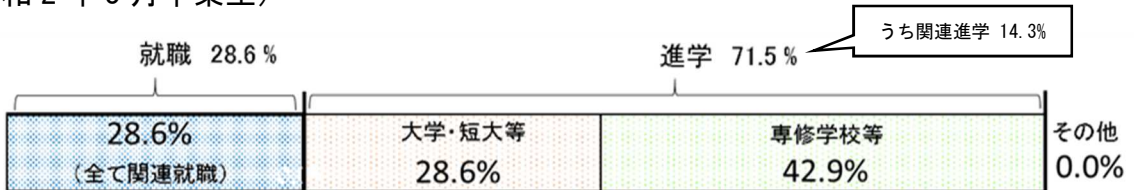
- ① Society5.0 社会に対応した人材育成 ～問題解決能力、問題発見能力の育成～
  - ・見守り支援システム付ベッドを用いた学習
  - ・介護福祉士国家試験資格の取得に向けた学習
- ② 地域や産業界との連携
  - ・のべ70ヶ所の様々な施設で実習
  - ・障害者福祉施設や、NPOの活動に積極的に参加
- ③ 魅力発信
  - ・福祉科劇団「地域とつながっちゃうず」の公演  
(高齢者を対象に悪質商法をテーマとした寸劇など)

## 3 進路状況

(平成26年3月卒業生)



(令和2年3月卒業生)



## 4 一般入学者選抜検査 志願倍率 (過去5年間)

H29	H30	R1	R2	R3	5年平均
1.13	1.40	0.80	0.53	1.20	1.01

### 【参考：各方面からの意見・要望】

- ・県立高校において、介護人材の育成に取り組むこと
- ・県東部の県立学校に福祉専門科等を設置すること